

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1898回例会

令和8年4月16日
18：30～19：30



創立40周年

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 白河市地域拠点整備 室長 二平真一様
- 白河市地域拠点整備 室長補佐兼係長 吉田義久様
- 白河市地域拠点整備 主査 穀田健吾様

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は、二瓶平室家長卓話ありがとうございました。完成楽しみにしております。会員の皆様、4姉妹クラブ合同例会、40周年記念式典、祝賀会本当にお世話にまり、ありがとうございました。）
- 運天直人幹事（皆様先日の40周年式典、祝賀会、そして二次会三次会と本当にお世話になりました。改めて心より感謝申し上げます。）
- 沼田重一会員（白河市職員の皆様、講話ありがとうございました。「しらふる」の完成楽しみにしています。）
- 関谷亮一会員（創立40周年記念式典会長実行委員長始め皆様御苦勞様でした。）
- 金田昇会員（40周年記念式典祝賀会大変楽しく有意義でした。家族ともども楽しく参加できました。）

4月12日
西郷村役場新庁舎完成記念 モニター贈呈



▶第1898回例会出席状況 (R8年4月16日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	58名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	17
Ⓓ 全正会員数	75名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	13名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	71
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	56.3%

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんにちは。本日、お客様がいっぱいいらっしゃいますので、紹介のほうをさせていただきますと思います。白河市より市長公室地域拠点整備室室長の仁平真一様。そして、室長補佐兼係長の吉田義久様。そして、主査であります穀田健吾様。本日は皆さんも建設中の見てらっしゃると思いますが、複合施設「しらふる」の経過報告等や将来に向けてのビジョンということでお話をいただきたいと思っています。先程、仁平室長ともお話させていただいたんですが建設計画中です、3年前にやはりロータリークラブに来ていただいて当時は建設中のいろいろなご苦労や、これから向かってく方向ということで仁平室長にお話をいただいたということで。今回はもう当時は複合文化施設とかまだ名称も決まっていなかった時期でしたが、今回はもう施設名も「しらふる」ということで、広く市民の皆様から募集して決まった施設名で、どんどん概要が明確になってきてると、そういうお話をいただきたいと思っておりますので、どうぞ後程よろしくお願ひいたします。そして何より40周年の記念週間のところで、4月5日の記念コンペ。そして、4月12日の4姉妹クラブの合同例会。そして、40周年記念式典、祝賀会と大変多くの皆様にご協力いただきまして無事終了することができました。本当に心より御礼申し上げます。ありがとうございます。姉妹クラブの皆様や来賓のお客様皆さんから本当に大変良い式典、祝賀会だったというお言葉はいただきました。もちろんこう面と向かって駄目だったなんて言う方はいらっしゃらないんですが、本当にじゃあ姉妹クラブの方、どこが良かったですかということいろいろお話を聞きましたら、何より女性会員の多さと着物の派手やかさが本当に良かったと。やはり、数名ぐらい着るクラブはあるかもしれませんが、あの人数で皆さん着物で迎えていただけたというのは本当ではないということで、本当に華やかで良かったということで。女性会員の皆さんは何より準備等ご苦労されたと思います。費用もかかったと思いますし、会員の中では3か月美容室に行けなくて髪の毛を伸ばしてくれた方もいらっしゃったり着物を新調された方もいらっしゃったり、本当にいろいろご苦労かけましたが、何よりいろんな方が喜んでいただいたと思っております。そして祝賀会の料理がお客様をもてなす私どものアトラクションということで設営しましたが、本当に料理も青木君の所のシェフが腕によりをかけて作ってくれて、もちろん試食会もあり、いろんなオーダーして本当にシェフには迷惑かけましたが、料理が本当に良かったということで、私は役職上主賓の席にいたんですが、主賓の皆さんって大概宴会慣れしてて宴会の料理って意外と食べないんです。食べ飽きてるといふか、そういった方々も本当に隣り副市長だったりガバナーだったんですが、ガバナーも本当に宴会沢山出てて宴会料理ってあんまり手を付けないそうなんですが、これは美味しいと言ってガバナーも隣りの副市長も完食されておりました。姉妹クラブの方々も自分の地元の食材がふんだん

に使われてるということで、通常宴会になってしまいますとお酒を酌み交わして挨拶をして意外と宴会料理って手を付けない方も多いんですが、皆さん自分の地元の食材が入っているということで喜んで食べていただけたということで、皆さん本当に喜んでいただけたと思いますし、何より私いつもいろんな周年なんかにもお邪魔した時に基準にするのって、最後の「手に手を」の時の人数とか勢いなんですね。本当に180人ぐらいがああ会場でかたまて「手に手をつないで」というのを歌うという、あの人数の規模感だったり華やかさだったり、最後の元気の良さだったりというのがクラブの活力の基準じゃないかななんて思っよく見ておりますが、本当に強烈な元気の良さで最後に「手と手」を合唱出来たと思います。そういったところが今の白河西ロータリークラブの力だと思っておりますので、それをいろいろな多くの方々へアピールできたいし、40周年を皆さんに感謝の気持ちを伝えられたのかなと思っております。そして間髪おらずに翌日の4月13日には、もう第1回目のクラブ協議会が始まりました。そちらも今度は次年度の青木年度の始動に向けていろいろ協議をしたということになります。青木会長にしましてはいろんな諸団体のトップをやってますし、ロータリーでいえばガバナーのような役職も彼はこなしてきてますので、そういったところでの組織のいろんな運営の仕方は誰よりも詳しい方なので、そういったところまた来年は来年でおそらくちょっと独特のカラーはあると思いますが、青木カラーで一年間運営してくと思っておりますので、そういったところは心配なくやれると思います。そして、ガバナーの地区に対するいろいろなバックアップ体制もどんどん出来上がってきてると思いますので、5月17日の地区のセミナーに関しまして多くの方々にお手伝いいただいて、そちらも白河西クラブのまた元気あるこの活力を見せて金田昇ガバナー年度を充実した年度にしていきたいと思っておりますので、またくれぐれもよろしくお願いいたします。あと、まだ今年度終わるまで数か月ありますが、是非そちらも年度内にもまたいろいろ行事ありますのでご協力いただいて、私例会中、絶対スーツで来て会長のバッジも付けて、ロータリーのマークも付けてしっかりやってたつもりだったんですが、式典が終わった途端バッジも会長のマークも紛失してしまいました。今、慌てて探しておりますがちょっと気が抜けてしまって、あんなにみんなに言っていたのに今日見たらいろんな物がなくなってましてまた来週までには調達しないといけないと思っておりますが、こんなふうにならないようにあと2か月ぐらいどうぞよろしくお願いいたします。と思います。

■幹事報告

運天直人幹事

○ガバナー 泉田征慶 ガバナーエレクト 金田昇 地区財務委員長 伊藤公明：2025-26年度地区大会決算報告承認並びに2026-27年度地区賦課金(案)、地区資金予算(案)の送付について

○白河市国際交流協会会長 内藤義久：令和8年度「白河市国際交流会総会」の開催について

○米山記念奨学会事務局 峯純子：ハイライトよねやま313号

○白河市緑化推進委員会会長 鈴木和夫：令和8年度

「緑の募金」について(依頼)

○福島民報社：広告掲載紙

■各委員会報告

●三大セミナー実行委員会

矢田部錦四郎実行委員長



皆さん、こんにちは。三大セミナーの実行委員長の矢田部です。皆様のおかげで1回目2回目無事研修会が終わり、あと一回5月17日のセミナーを残すところになっております。そして皆さんのほうにファックスが流れたと思うんです。前日のお手伝い、当日のお手伝いということで連絡が行ったと思うんですが、23日からやると言ったんですけど、いろいろ例会終わった後に打ち合わせやろうと思ったんですけど、その日は観桜会なのでまたこの次の週あたり例会終わった後の時間を利用させていただいていろいろと打ち合わせをやっていききたいと思います。あと40周年の部分では、会長の思いにやはり答えるために藤田・運天年度にお世話になってこの三大研修会2回とも終わり、あと1回またこの年度にお世話になって何とか頑張らなきゃならない部分なので、私見慣れない女の人がいたと思うんですね、私の側に。隠してたわけじゃないんですが、つまらない私の妻です。今後とも何かあればよろしくお願いしたいと思います。女性が足りないということで、会長にもいろいろお世話になってるので、皆さんのほうにお披露目させていただきました。これからもロータリーとは関係ないんですけど、いろいろお付き合いよろしくお願いします。地区ラーニングセミナー、5月17日の役割なんですけど、地区のほうの副幹事が次年度の委員長に多分6～7名くらいな

ってためにその副幹事が旧分科会をお世話するわけだったんですけど、そのうち次年度のこのクラブの委員長さんたちが研修会のほうに行っちゃうためにそのお手伝いの人たちが半分ぐらいになってしまったんですね。ですから、やはりいろいろと頑張ってくれる人はやはり委員長にどんどん使命されてって、その副幹事と次年度の委員長がダブってしまいました。大体何とか基本的な段取りはしたんですけど、急にその辺の段取りが狂ってしまっていていろいろと大変なので、是非皆さん協力のほうをよろしくお願いしたいと思います。主な仕事は600名のネームを机に置いたり、レイアウトを確認したり、あとは一番大変なのは弁当も分科会で配らなきゃならない、600人分ですね。各分科会でその弁当の配膳をしてもらったり、朝一で「ユラックス熱海」に5名、それから「華の湯」に5名ということで約500台前後の車で来る方の誘導が多分一番大変かなと思います。始まってしまえばそんなには用事ないので、あとは出迎えを出来るだけ多くの方、櫛をかけて白河西クラブのイメージを上げていきたいと思うので、その辺の雑用なんですけど、本当に頼みづらい仕事ばかりなんですけど、何とか協力していただいてお願いしたいと思います。特に大体前日で終わらせていきたいと思うんですね。「華の湯」で2時頃から準備をして、そして当日は1時間で確認だけして皆さんを気持ちよくお迎えするという形を取ってきたいと思うので、そしてまた理事会でもまだかかってない部分なんですけど、僕の相棒がちょっと都合によって実行委員長一人で頑張らなきゃ

ならない状態になりそうなんですけど、皆さんの助けがあればなんとか乗り切っていけますので、是非協力をよろしくお願い致します。

●次年度青少年奉仕委員会

大竹憂子会員



皆さん、こんにちは。先日の式典の時青少年ボランティア誓約書に皆さんにご記入いただいたんですけども、ここに免許証のナンバーを書かなければいけない部分がありまして、先日免許証のナンバーを書いてない方は本日でできるだけ書いていただきたいと思います。私、回っていきますので皆さんご協力よろしくお願いいたします。それから先程新庁舎のほうでのお話ありましたが、西郷村役場の新庁舎。ここの例会が終わりましてまっすぐ新庁舎のほうに向かう形でよろしくお願いいたします。見学が20～30分ぐらいだろうということなので、西郷村役場への寄贈の寄贈式典というか、寄贈はちょっと早まりまして2時40分ぐらいになる予定になっております。もし、3時だと思ってる方いらっしゃる方いました2時半ぐらいに新庁舎のほうにお越しいただけるようよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム ゲスト卓話

●白河市市長公室地域拠点整備室室長

仁平真一様



改めまして、皆様こんにちは。先程ご紹介いただきました、わたくし市長公室地域拠点整備室室長の仁平と申します。本日は担当係長の吉田とですね、担当の cocktails も同席をさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。まず初めに白河西ロータリークラブが創立40周年の大きな節目を迎えられましたこと心よりお祝いを申し上げます。本日、このような機会をいただきましたこと重ねてお礼を申し上げます。先程、会長のほうからご紹介がありましたようにちょうど3年前にですね、基本設計のレベルでこの複合施設の概要をご説明申し上げたわけでありましたが、本日は11月に本体工事のほうもスタートしまして、現在の進捗状況や今後どういったことに取り組むのかというふうなことから中心にお話をさし上げたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。まず、お手元のほうにも資料があるんですが一番初めに映っ



複合施設「しらふる」

施設概要

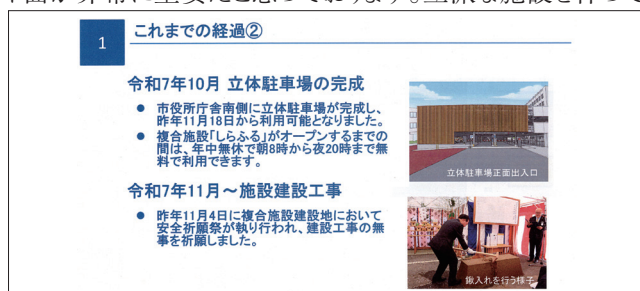
白河市 市長公室 地域拠点整備室
2026年4月

てるスライドですが、複合施設をちょうど白河駅を背にして人の目で見えたイメージパースとなっております。現在立体駐車場のほうの整備が終わりまして、市役所の利用する方に駐車

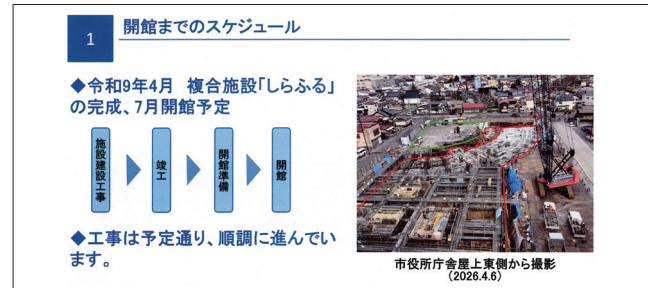
の迷惑はかけないようにということで立体駐車場後に11月に着手をしたわけですが、令和9年4月の完成を目指して今工事を進めてるという状況であります。本日の内容につきましては、これまでの経過と開館までのスケジュール、整備コンセプト、各フロアがどのような機能があるのかということと、運営サ



ービスの特徴なんかについてちょっとお話をしたいと思います。これまでの経過であります、市民会館跡地は28年に駅前の「コミネス」が整備されたのを機に空き地になりました。ちょうど市役所の隣にあって中心市街地の一等地にあるというふうな大変恵まれた環境にあることだからあくまでも駐車場として暫定的に使用してきたという経過がございます。令和元年の8月にどのような利活用するかというふうなことから基本方針を定めております。その後令和3年3月には複合施設の整備コンセプトですとか、整備方針、こういったものをまとめた基本計画というふうなものを取りまとめました。この時点で市内の天神町にある中央公民館。あとは、市内の中田のほうにある中央保険センター。この機能移転をするというふうな方針を定めたところであります。令和5年3月には、先程こちらのほうでもご説明申し上げたというふうな経過がありますが、生きがづくり、生涯学習ですね。子育て支援、健康増進、交流といった機能を整備するために実際の利用を想定した平面図だとか立面図、こういったものを取りまとめた基本設計というふうなものを取りまとめたところであります。この基本設計をベースに建設工事をおこなうために必要な設計図を取りまとめた自主設計というふうなものを令和6年9月に完了しました。こうした計画の策定過程においては記載のとおり市民アンケートですとか、ワークショップというふうなものを実施いたしました。また有識者や各種団体の代表など民間委員で構成する外部検討委員会を設置しまして、同時並行的に検討を進めてきたというふうな経過がございます。本日この会員の中にも、藤田会長をはじめ石川様、大住様にもこの外部検討委員会のほうにご参画いただいたという経過がございます。この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。こうした市民の声をきちんと形にするためにはベースとなる施設の整備。ハード部分はもちろん大切なんです、運営やサービス、ソフト面が非常に重要だと思っております。立派な施設を作って



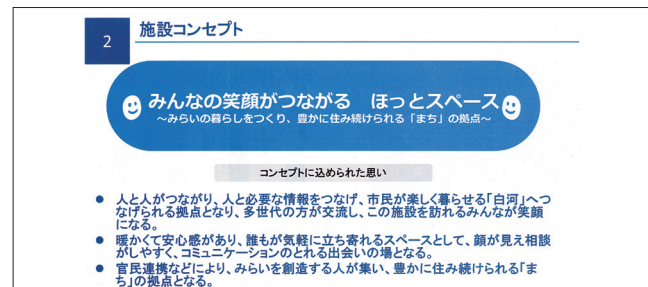
もソフトが伴わなければ利用者の満足度は低く、施設が本来持つ可能性を十分に発揮することはできないというふうに考えております。このため市では運営計画の策定だとか、管理運営者の選定、更には提供するサービスの内容などソフト面を充実させるべく力を注いでまいりました。まず立体駐車場、繰り返しになるんですが11月18日から共用開始でございます。複合施設がオープンするまでは年中無休で朝の8時から夜の20時まで無料で利用できる状態になっております。また、昨年11月4日にこの跡地において安全祈願祭を執り行いまして、工事の無事を祈願いたしました。現在建設工事は予



定通り順調に進んでおります。写真は4月6日に市役所庁舎の屋上の東側から撮影したもので、今現在は基礎工事をおこなってる段階であります。こちら繰り返しになるんですが4月の完成を目指して進めております。完成後に例えば備品の搬入ですとか、市役所1階にある子育ての窓口、こういったのもですね複合施設の中に取り入れますので、引っ越し作業や試験的なオペレーション、こういったところが2か月程度ちょっとかかるというふうに見込んでおります。グランドオープンは9

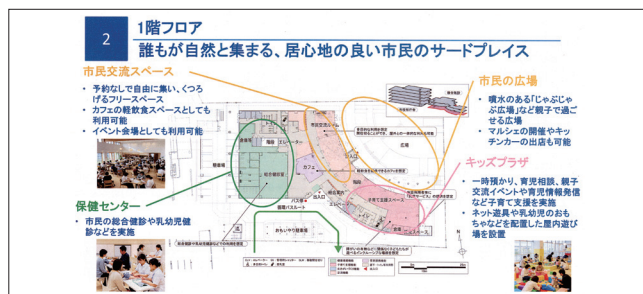


年の7月を目指しているという状態になります。施設のコンセプトでありまして「みんなの笑顔が繋がるホットスペース」と設定

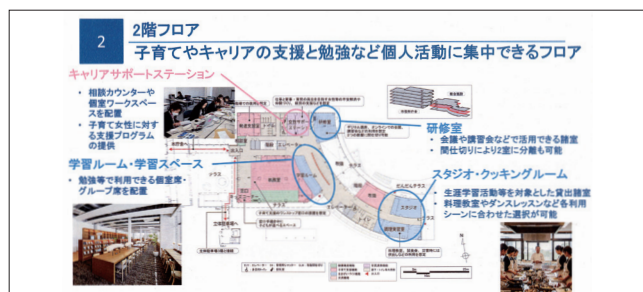


をしておりまして、副題を「未来の暮らしをつくり豊かに進み続けられる町の拠点」というふうなことで設定しておりまして、こういった思いを具現化するために、このあと施設の配置ですとかフロアの構成を説明をしたいというふうに思います。まず、こちら計画エリア全体であります。ちょうど市役所があって、その下に立体駐車場。その脇に、複合施設の跡地があるわけですが、改めて複合施設は地上3階建てになります。延床面

積が5300平米となっております。アクセスが良い西側に行政サービスを集約しまして、広場に面した東側に市民活動エリアを配置をしてございます。駐車場については市役所庁舎の南側に立体駐車場ですが、これが190台停められるようなキャパがございます。また、北側の市役所正面の平面駐車場をこれを再整備をしまして90台停められるようなことになっております。複合施設側で20台程度。合計で300台の駐車台数を確保しております。更に複合施設の2階部分を連絡デッキによりまして、市役所の1階と立体駐車場の3階に繋げて移動の利便性を高めるような計画をしてございます。東側に広場を設けることで小峰通りにも賑わいが溢れるようにしております。また複合施設の南側の玄関にバス停を設けます。今、市役所までちょっと循環バスが入ってこれずにちょうど白河商事のガソリンスタンド前がバス停になってるんですが、今回この複合施設の整備を機に複合施設の正面玄関まで入れるような、そういった形で循環バスの乗り入れということを計画し

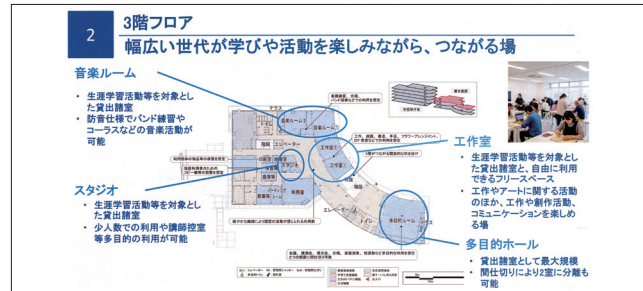


てございます。1階は屋外の公園ともいわれる市民の広場。これを整備しまして噴水のあるじゃぶじゃぶ広場ですとか、日陰のあるデッキなどでお子様や保護者の方が交流できるような、そういう計画をしております。また、マルシェなどのイベントの開催ですとか、キッチンカーの出店も可能となっております。建物屋内ですが、正面を入りましてまず開放感のある市民交流スペースというふうなものがございまして。市民交流スペースに面してカフェを配置をします。例えば、コーヒーですとか焼き菓子、こういった軽食を提供するような計画でございまして。また総合検診ですとか、お子様の健康診断、こういったことが利用できる総合検診室を備えた保健センターというものを配置をいたします。更には子育て広場ですとか、一時預かり、



子育て支援事業をおこなうほか2階の吹き抜けを活用したネット遊具を整備しまして、屋内遊び場というふうなもので、これを総称してキッズプラザというふうなことで設置を予定してございます。2階は子育て中の女性をメインとした不安解消、仲間づくり、就労支援をおこなうキャリアサポートステーション白河というふうなものと、子育てをサポートするワンストップ窓口であるしらかっこ応援センターというふうなものを設置します。

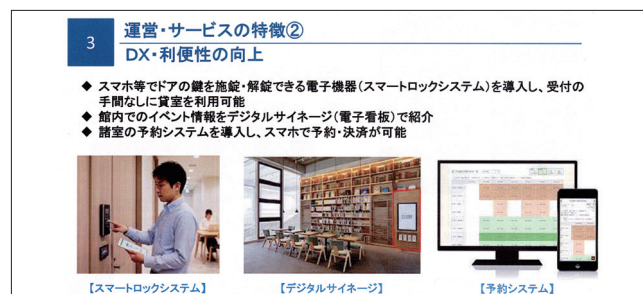
また2階のほうには生涯学習センターの一部の部屋として研修室やスタジオ、料理教室の開催等を想定したクッキングルーム。また、プライベート空間を確保した学習ルーム。こういったものを配置をする予定であります。3階は中央公民館の機



能を含んだ生涯学習センターのメインのフロアであります。防音仕様の音楽ルームが二つございまして。あとは、創作活動のための工作室。更には多目的ホールとして最大160人を収容できる大きな部屋となっております。更には、個室利用が

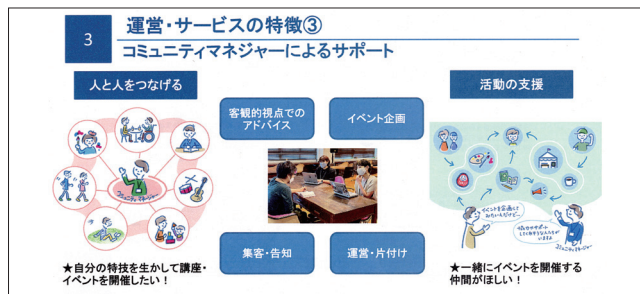


可能なスタジオ3つ整備をするというふうな計画となっております。次は運営サービスの特徴というふうなことで、まず施設を利用する方の活動を紹介する展示PRコーナーを館内に設けたいと思います。団体サークル活動で活動していただいた方々の活動状況を館内で紹介するということを想定してございます。また、マルシェですとか、各種講座、セミナーのイベント情報を取りまとめたチラシを定期的に発行したいというふうに思っております。公式ホームページでも活動団体を紹介するほかですね、Instagram等のSNSでのイベント告知ですとか、施設情報の発信を充実させたいと考えてございます。DX利便性の向上というふうなことで、まず一つ目はスマー

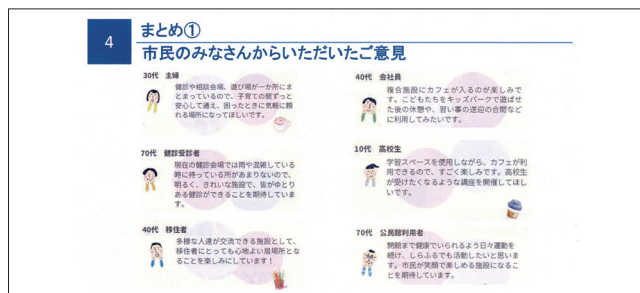


トロックシステムというものを導入したいと思っております。生涯学習センターの貸室ですとか、執務室、バックヤード、これらの部屋にスマホですとか暗証番号などでドアの鍵を施錠解錠できる電子機器を整備をするというふうな計画でありまして、通常は受付に行って鍵を預かったりするわけなんですけど、こういった受付の手間がないような形で部屋を利用できるようなそういう仕組みを導入する予定であります。また、施設の案内ですとかイベント開催などの情報を発信するため電子看

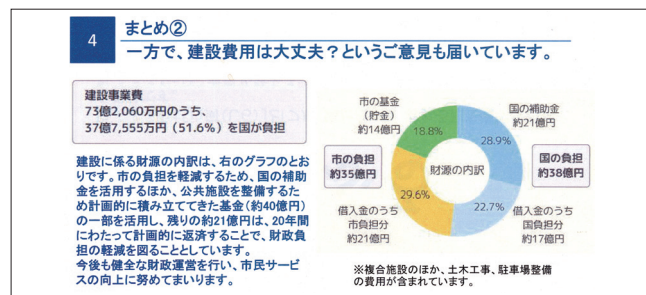
板も施設内の出入り口の動線ですとか、エレベーター前に設置をするというような計画です。最後にユニバーサルデザインを重視をしまして、空室ですとか空席状況、また利用予約、こういったことをいつでもどこからでもできるようにしたいというふうなことで、スマートフォンで予約や決済、空き状況なんかを



確認できるようなそういうシステムの整備なんかも予定をしております。運営サービスの最後になるわけですが、コミュニティマネージャーというスタッフを配置する計画であります。団体やサークル、その他施設を利用する方を対象にイベントや講座の企画運営、広報周知のアドバイス、情報提供も含めてこういったことをサポートをするスタッフを採用する計画であります。例えば、自分の特技を生かして講師になって講座だとか、例えばイベント開催したいというようなご相談。また、イベントを開催するにあたって仲間が欲しいそういったそのご要望の声にも対応するような、そういうスタッフの配置を予定をしております。なお指定管理予定者ということで現在その事業者と検討を進めているわけですが、正式名称が「株式会社カルチャーコンビニエンスクラブ」というふうな会社でありまして、皆さんご存じの「TSUTAYA」ですとか、Vポイントを運営してる会社であります。その会社と共に現在あくまでも指定管理予定者ということで開館準備をおこなっておりまして、近く正式に指定管理者として一緒になってこの施設を盛り上



げていきたいというふうに考えてございます。「しらふる」の開館に向けまして、様々の世代の方からインタビューと期待する声やご意見をお寄せいただいております。時間の都合上、詳細説明は割愛をさせていただきますので後程ご覧いただきたいと思っております。施設費用は大丈夫なのかというような心配する声をいただいております。立体駐車場の整備を含めた建設費用の総額は約73億円ということで見込んでおります。市としても少しでも費用負担を軽減するために様々な手立てを講じてるわけですが、一つは国の補助金を積極的に活用することと、計画的に積み立ててきた自治体の貯金である基金というものを活用する計画であります。国からの補助、支援分で約半分の38億円を確保しまして、残りの35億のうちこの35億については基金ですとか、借入金というふう



なもので賄っていききたい。現時点では財源の確保に見通しが立っております。費用が実際当初より膨れ上がっているというふうなことはこちら周知の事実でありまして、こちらについては全国的な原材料、輸送コストの増加というふうな事を背景に資材価格の高騰ですとか、人手不足によって人件費も高騰してるといった社会情勢の変化がありまして、現時点での73億というのはそういった経済情勢にも対応した事業費となっております。繰り返しになりますが、財源については将来に渡る財政の健全性を保つことを前提に今後も他の政策に影響がないような形で財源を確保していきたいというふうに考えてございます。こちらタイトルにもあります「しらふる」は施設の愛称であります。全国から1600件を超える応募がございました、その中から「しらふる」というような愛称に決定したわけですが、市民や訪れる方々の心と体が満たされ笑顔や繋がりが自然に広がっていく、そんな場所であってほしいという願いが込められております。引き続き施設のオープンに向けて鋭意開館準備を進めてまいりたいというふうに思っております。「しらふる」の中には例えば1階のフリースペースに物販コーナーもあったりまた屋外でマルシェ等の開催なんかもございます。あと3階の生涯学習センターの中には、もの作りができるようなコーナーがあります。今はアイデアレベルですが例えば皆様のお仕事柄ですね、ちょっと廃材が出たりした場合にそういった廃材を利用してお子様が自由に工作ができるようなそういうワークショップなんかもちょっと検討してございます。また改めてこういう機会をいただきまして、この複合施設に皆様方にご協力いただきたい事柄をご説明させていただきましてご協力を賜りたいというふうに思っております。大変駆け足となりましたが、私からの説明は以上であります。ご清聴ありがとうございました。